

オンライン「いきがい助け合いサミット」神奈川終了

今年の助け合いサミットは、9月1日～2日にかけてオンラインで開催されました。全体シンポジウムから始まり、選択した3つの分科会を視聴しました。

自分のメモの中から、いくつか書き出してみます。

☆3つの自由（動く・集まる・会話する）と五感を通じた交流を大切にする。

☆結果を出そうとするとやらされ感が出る。経験から出るアイデアを積み重ね、同じ時を過ごす。言葉は後付けで良い。

☆明日のために支度をしてそこに行く、集まると笑いがある。助け合いと生きがい人が健康にする。

☆孤独は肥満より健康に悪い。プラス2,000歩を目指すより誰と歩くのか、社会性が重要な鍵となる。

☆時々人生会議を家族で行い、もしもの時のために医療やケアについて思いを共有する。

☆行政・企業・地域社会の三本の矢で介護離職ゼロ作戦は、経済政策の一つである。

☆共有から共感へ、そして運命共同体へと広がる。真剣だけど深刻にならない。

・・・など、たくさんの学びがありました。来年度は東京開催となります。その頃は、どうかコロナが収束していますように。



ふくしワークショップ

みんなでしゃべろう会②

今回は、テーマを地域食堂に絞って話し合いました。事例発表の後、2つのグループに分かれて自由に発言し、やるとしたらどんな地域食堂が良さそうかと話し合い、最後に発表しました。できれば今年度中にお試して出来れば良いと思います。

日時：令和3年9月22日（水）

10:00～11:00

会場：地域福祉ターミナルていく

テーマ：「あったらいいな、こんな地域食堂」

①事例紹介

